



# 高松日和

令和6年12月25日  
【第49号】  
(校長版学校便り)

## 229名が挑む！～大学入学共通テスト～

3年生にとっては今後の進学先を決める上で非常に重要となる『大学入学共通テスト』が、来年の1月18日(土)、19日(月)の2日間にわたり実施されます。本校では3年生 **229名が出願**しました。平成29年より本校が試験会場となっており、それまでの伊那市にある信大農学部で受験をしていたことを考えると、精神的にも身体的にもストレスがかなり軽減、受験に臨めるのではないかと思います。インフルエンザなどが大流行している昨今ですが、体調管理をしっかりと最後の追い込み、そして当日を迎えてもらいたいと願っています。3月下旬までの長い受験シーズンが始まります。“知力”、“体力”、“精神力”を充実させ、受験を乗り切り、良い結果を手にとってもらいたいものです。



## “DXハイスクール”～学びの深化へ～

教育分野においても、DX(デジタルトランスフォーメーション)の重要性、有用性が言われています。文部科学省では「高校段階におけるデジタル等成長分野を支える人材育成の抜本的強化が必要である」と考え、今年度全国の公立・私立の高等学校等1,000校程度を対象とした『**高等学校DX加速化推進事業(DXハイスクール)**』事業に取組み、1校につき1,000万円を補助することになりました。本校でもこの事業の指定を受け、今年度末までには空き教室を改修して、「DXルーム」とするとともに、ハイスペックPCや3Dプリンタ、動画・画像生成ソフトなどを導入します。理数科の「理数探究」や普通科の「総合的な探究の時間」などでさらに深化した学びに取り組むことができるものと、大いに期待しています。

## “世代を超えて”～生徒自治会役員×同窓会役員～

先日、初めての企画として、“**生徒自治会役員×同窓会役員**”世代を超えた懇話会を開催しました。今年度の同窓会総会において、当時の生徒自治会役員が生徒自治会の活動を説明する機会があり、同窓生の方々に大変好評でした。そこで、中島生徒自治会長を中心とした新体制が動き出したことを機に、今回伊藤同窓会長をはじめとする5名の役員の方々と同窓会の組織や役割、そしてこれまでの支援について、また生徒自治会からはボランティア活動や地域との連携の推進などについて、それぞれ説明がありました。祖父母と孫のような関係ですが、飯田高校という共通のバックボーンのもと、世代を超えた活発な意見交換が行われました。今後は、高松祭や同窓会の活動などで具体的な連携が見られるものと大いに楽しみです。

